

# 三本木



アコウ                      ガジュマル                      デイゴ

- 10月の目標
- 生活目標 家庭学習の内容を工夫しよう  
身の回りをきれいにしよう
  - 読書目標 本を読んで絵や文を書こう
  - 保健目標 目を大切にしよう

〒907-0242 石垣市白保73-1  
☎(0980)86-7840 FAX(0980)86-7396

## 学校教育目標

- (1) よく考え進んで学習する子(やる気) → (知) かしこく
  - (2) みんな仲良く助け合う子(思いやり) → (徳) やさしく
  - (3) 体をきたえ最後までがんばる子(健康・元気) → (体) たくましく
  - (4) 自然を大切にし郷土を愛する子(郷土愛)
- 合言葉

1. 行きたくなる学校
2. 帰りたくなる家庭
3. 住みたくなる地域

※このような学校・家庭・地域を一緒に考えていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

### ●10月の行事予定 (※10月1日現在)

※沖縄県の緊急事態宣言(5/23日)～9/30(木)解除から県独自措置となるようです。今後も状況を見ながら随時調整します。

- 1日(金) 家庭学習強化月間、発育計測(1・2年)
- 3日(日) PTA作業(1・2・4班)
- 4日(月) あいさつ当番(1年)、発育計測(3～6年)
- 5日(火) お話朝会、安全点検日
- 6日(水) 4校時日課、石垣市小中学校職員研修会
- 8日(金) 歯ブラシチェック、会場設営(3～6年)
- 10日(日) 運動会
- 11日(月) 振替休日
- 12日(火) 童話お話激励会
- 13日(水) クラブ活動、子ども支援会議
- 14日(木) お弁当の日
- 16日(土) 世界食糧デー
- 17日(日) 市童話お話大会
- 20日(水) 委員会活動日
- 21日(木) 修学旅行～22日
- 26日(火) 人権の日
- 29日(金) 食育教室(4・6年)

### ●11月の行事予定 (※10月1日現在)

※沖縄県の緊急事態宣言(5/23日)～9/30(木)解除から県独自措置となるようです。今後も状況を見ながら随時調整します。

- 2日(火) お話朝会
- 3日(土) 文化の日(祝日)
- 5日(金) 安全点検日
- 7日(日) PTA作業(3・5班)
- 8日(月) 歯ブラシチェック
- 10日(水) クラブ活動
- 14日(日) PTA作業(予備日)
- 17日(水) クラブ活動
- 19日(金) 会場設営(6校時 4～6年)
- 21日(日) しらほっ子発表会
- 22日(月) 振替休日
- 23日(火) 勤労感謝の日(祝日)
- 24日(水) 委員会活動日
- 25日(木) 感謝集会、人権の日

### ●おにぎりアクション

・10/14のお弁当の日におにぎりの写真を撮影しますのでできる限りおにぎりを持たせて頂きますようよろしくお願いいたします。写真1投稿につき、100円が賛同企業から寄付され、アフリカ・アジアの子どもたちに5食寄付されます。特設サイトへの投稿は学校の方でまとめ行います。

### ●9月の様子です

#### ・9/7 学級役員認証式

二学期から一年生も級長と副級長を決めて、学級をまとめてもらいます。お兄ちゃんやお姉ちゃんの様にみんなの意見を聞き、楽しい学級づくりをしてほしいと思います。



#### ・9/10 草置き場の整地

職員駐車場横の草置き場がいっぱいになっていたのですが、事業部長の宮良さんにトラクターで押してもらい、草を置くスペースを確保して頂きました。これで当分は持つか？感謝！



#### ・9/13 読書旬間

運動会が10月へ延期したことに伴い、読書旬間が前倒しとなり、期間が短いので読書旬間という形になりました。写真は、放送室から読書旬間を全児童へ呼びかけている様子です。



#### ・9/15 クラブ活動

しらほっ子発表会に向け、クラブ活動が展開されています。写真は、舞踊クラブで講師の世持さんに丁寧に指導を受けています。本番では、華麗な座開きを期待しています。



#### ・9/17 食育教室(1・2年)

テーマは、一年「きゅうしょくにつかわれているものをしよう」、二年「どうしていろいろなものを食べるのだろう」で花原栄養教諭と嘉良栄養教諭に指導して頂きました。



#### ・9/29 全体練習

今週から本格的に運動会の練習がスタートしました。今日は全体での練習となり、全体練習の1回目ではありましたが、子ども達はのびのびと取り組んでいました。



# 三本木



アカウ                      ガジュマル                      デイゴ

- 10月の目標
- 生活目標 家庭学習の内容を工夫しよう  
身の回りをきれいにしよう
  - 読書目標 本を読んで絵や文を書こう
  - 保健目標 目を大切にしよう

〒907-0242 石垣市白保73-1  
☎(0980)86-7840 FAX(0980)86-7396

## 学校教育目標

- (1) よく考え進んで学習する子 (やる気) → (知) かしこく
- (2) みんな仲良く助け合う子 (思いやり) → (徳) やさしく
- (3) 体をきたえ最後までがんばる子 (健康・元気) → (体) たくましく
- (4) 自然を大切にし郷土を愛する子 (郷土愛)

合言葉

1. 行きたくなる学校
2. 帰りたくなる家庭
3. 住みたくなる地域

※このような学校・家庭・地域を一緒に考えていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

### ●子どもの考える力は対話で伸びる

ジェイソンさんご自身は家庭では、どのようにお子さんと接していますか？



家事などは、奥さんに任せてしまっている部分が多いけれど、僕の両親が必ずしてくれたように、子どもと一緒に食卓を囲む時間を大切にしていますね。そのときに「今日どうだった？」みたいな会話をたくさんすることで、本人の意思や考えをきちんと言えるように育てています。また、節約を通して自分を律することを教えています。例えば、自動販売機で飲み物が欲しいとおねだりされたときに、「あのスーパーならもっと安く買えるけれど、どうする？」と言葉をかけるのです。子どもには、今どうすることが自分にとって良いのか、自分で考えて選択するようにさせています。

共済フォーラム 2020年12月号

「リレー連載 先生と私 第27回」より抜粋

厚切りジェイソン(お笑いタレント・IT企業役員)

### ●「教える」ということ

数年前に、ある高校生と公開対談をしたことがあります。なんと中学生で会社をつくって社長になり、活動をしている女性です。中学生でベンチャー企業を起こした人と、還暦でベンチャーを創業した僕、という組み合わせで話をしました。対談の終わりにその高校生のご両親に対して、「どんな教育をしたのか聞きたい」という質問が会場から出ると、彼女はスッとマイクを取って、代わりに答えました。

「お父さんもお母さんも何も言わなかったけれど、私がお菓子が欲しいとねだったときは、『なんでお菓子が欲しいの?』と聞いてきた。そして、なんで欲しいのかを説明できなかつたら、買ってもらえなかつた」というものでした。「なんでしたいの?なんで欲しいの?どうして?」と聞かれたので、小学生のころからその答えを探すようになったということです。そうした経験は何も特別なことではありませんし、それがすべてではないかもしれませんが、彼女にとっては「自分の頭で考えて、答えを探す」ことが習慣づけられるきっかけになったのではないのでしょうか。そして、そのように「自分の頭で考えさせる」きっかけとなる問いかけは家庭の外で、つまり学校でこそもっとも行うべきことではないでしょうか。

「教える」ということ 著者 出口治明 R2.5.1より抜粋

立命館アジア太平洋大学 学長/ライフネット生命創業者

### ●親と子は違う。対等な関係が対話のスタート地点

家庭でも対話が大事です。人と人との関係性を対等にしたかったら、まずは対話をするしかない。

親と子、上司と部下、年上と年下、男と女。人ってたくさん違いがありますよね。でも、違いを対等にしてつながったところにしか対話は生まれません。

違いを対等に受け入れて、親と子が対話ができるようになると、学びも楽しくなります。これは、きっと子どもが今ハマっているゲームより楽しいですよ。

対話力をつけようと思ったら、自分と他者との違いを対等に感じられるようにする以外にないんです。この力が多様性のある社会で共に生きていく力につながっていきます。

親が変われば、子どもは確実に変わります。

親は自分が変わったら、すぐに子どもにも変わることを求めがちですが、すぐに結果を求めないで下さい。

「なんで私が努力してこんなに変わろうとしているのに、あなたは変わらないのよ」と、子どもにも見返りを求めてしまう。

親と子であっても対等な関係です。でも親は子どもよりも長く生きている分、たくさんの経験をして、失敗も苦勞もしてきています。それに対して、子どもはこれからたくさん経験をしていく存在。この違いをわかったうえで、対等な人と人との関係にしていけることを大人が理解していきましょう。

子どもは親の持ち物ではありません。とはいえ、親が育てている以上、「言うことを聞け!」という気持ちになってしまうのも、わかります。でも、出来がいい子だろうと悪い子だろうと、どんな悪たれだろうと失敗ばかりしようと、子どもを「一人の人間」として認め、どう向き合うかが大事なんです。

親の思う通りにさせることが目的ではなくて、目の前の子が10年後、20年後の社会で4つの力を試しながら使いながら、なりたい自分になり、幸せであること。これがいちばんの願いですよ。

子どもに4つの力をつけさせたかったら、大人にこそ、4つの力が必要です。とくに親が子どもの時代に育ってきた社会情勢と、子どもが今から大人になっていく社会情勢ではまったく違います。そのことを親は計算に入れておかなければいけません。

### ●4つの力

- 1 人を大切にする力      2 自分の考えを持つ力
- 3 自分を表現する力      4 チャレンジする力

10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方

「困った子」は「困っている子」より抜粋

2020.11.20 著者 木村泰子(大空小学校初代校長)